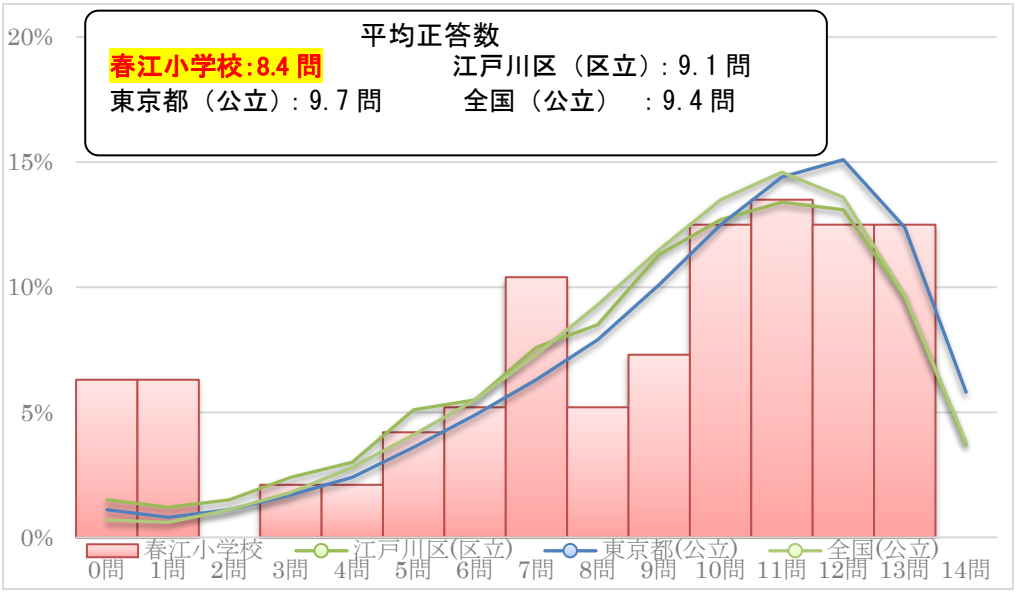
令和5年度　全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】春江小学校

正　答　数　分　布



＜四分位における割合（都全体の四分位による）＞

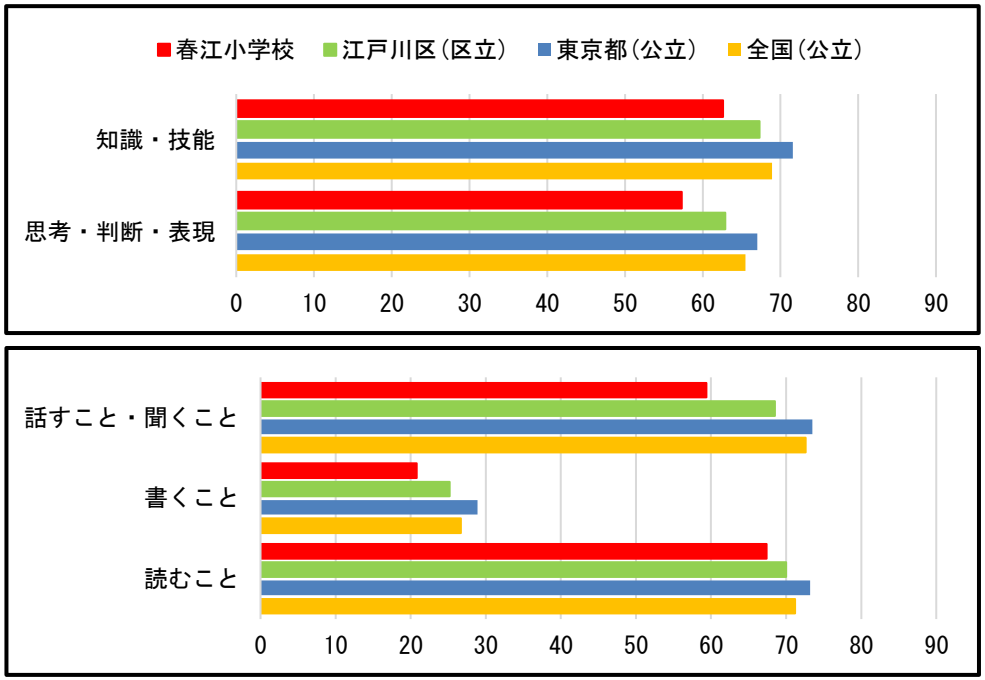
上位 ◀――――▶ 下位

国　語	A層 12～14 問	B層 10～11 問	C層 8～9 問	D層 0～7 問
春江小学校	25.0	26.0	12.5	36.6
江戸川区（区立）	26.4	26.1	19.8	27.7
東京都（公立）	33.3	26.9	18.0	21.8
全国（公立）	27.1	28.1	20.8	24.0

%

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の 1/4、2/4、3/4 にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都（公立）のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

春江小学校	60%
江戸川区（区立）	65%
東京都（公立）	69%
全国（公立）	67.2%
都との差	９ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

平均正答率で比べると、都の正答率 69%に対し、本校は 60%と 9%下回る結果となった。四分位で見ると、AB 層が 51%と半数以上を占める一方で、D層の割合が 36.6%と最も多く、漢字の習熟を含めた基礎基本の定着を図る必要がある。領域ごとに見ると、全国や都の平均正答率と同様に、【書くこと】が 20.8%と特に低いことが分かる。【話すこと・聞くこと】についても都の 73.5%に対し、本校は 59.4%と 14%下回っていることが分かる。授業の中で友達との交流等の対話的な学習活動を行い、考えを比較させたり、書く活動を毎時間設けたりする等の授業改善を図っていく。